住宅用火災警報器 交換のおすすめ
10年たったら、とりカエル。

逃げ遅れないために 住宅用火災警報器を

◀イメージキャラクター「とりカエル」

空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節になりました。たばこや暖房器具など住宅火災の原因はさまざまです。

気を付けていても起きてしまう場合も。万が一火災が発生したときには、早く気付くことが最も大事です。住宅用火災警報器の設置・点検をして、10年たったら交換しましょう。

乾燥した日は火の取り扱いに注意

昨年市内で発生した火災の件数は49件で、前年に比べて22件増加しました。林や田畑などで立木や雑草などの火災が増えています。その中でも、枯草を燃やす野焼きが原因で起きた火災は６件も増えました。乾燥した日は、小さな火がきっかけで火災が発生しやすくなります。取り扱いには十分気をつけてください。

コンロの誤った使い方や寝たばこが火災につながります

昨年全国で発生した住宅火災の原因は、１位がコンロ、２位がたばこです。コンロはどの家庭でもよく使われていますが、使用方法をよく確認した上で、周囲の整理整頓や使用中にその場を離れないなどの注意が必要です。また、寝たばこは大変危険なので、絶対にしないようにしてください。吸殻や灰皿の不始末なども、火災につながります。

また、昨年住宅火災で亡くなった人は全国で889人、そのうち逃げ遅れが半数以上の451人となっています。火災の発見が遅れることは命に関わります。

いち早く知らせる住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、いち早く火災の発生を知らせてくれます。早く逃げることが難しい高齢者でも、設置することで、すぐに気付くことができます。実際に設置が義務付けられてから、住宅火災での65歳以上の死者数は、減少傾向にあります。取り付けていない場合は、早めに設置してください。

こまめに点検を。交換は10年が目安

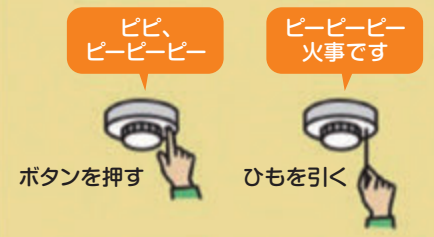
住宅用火災警報器は常に火災を監視しているので本体は消耗します。取り付けていても、火災のときに鳴らなければ、逃げ遅れてしまいます。設置したからといって安心しないで、きちんと作動するかこまめに点検してください。

市で設置が義務付けられてから10年になります。年数がたったものは、火災を感知しなくなる可能性があります。10年を目安に、古くなったものは速やかに交換しましょう。

点検のしかた

正常な場合は？

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音がなります



※警報音はメーカーや機種によって異なります。

音が鳴らない場合は？

- 電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。
- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

訪問販売は、はっきり断って

今後、消防署を騙(かた)る悪質な手口の訪問販売によって、被害が発生する可能性があります。消防署が業者に依頼したり、直接訪問したりすることは絶対にありません。はっきり断って、すぐにこちらに連絡してください。

- 八千代警察署　☎486-0110
- 八千代市消費生活センター　☎485-0559
- 消費者ホットライン　☎188（いやや!）

お問い合わせは
消防本部予防課☎459-7803へ

消防フェアのお問い合わせは　▷▶　消防本部消防総務課☎459-7802 へ

11/3(祝) 消防フェア

「防火・防災・救命」に関心を持ってもらうためのフェアを開催します。救助隊による演技、消防音楽隊の演奏、放水体験など。スタンプラリーの特典では、はしご車搭乗（先着30組）や消防団車両乗車体験なども。

▶場所　イオンモール八千代緑が丘
▶時間　午前９時30分～正午

普通救命講習の申し込みは　▷▶　消防本部警防課☎459-7804 へ

救 命 講 習

救急隊が着くまでに、あなたができる応急処置を学ぶ２つの講習を開催します。修了後、普通救命講習修了証を交付します。11月16日(金)までに申し込んでください。各先着30人。人数が少ないときは中止する場合があります。

▶対象　市内在住か在勤・在学の人
▶時間　午前９時～正午
▶費用　540円（教本代など）

11/24(土) 普通救命講習Ⅰ

成人に対するAEDを含む心肺蘇生法など。

11/25(日) 普通救命講習Ⅲ

小児・乳児に対するAEDを含む心肺蘇生法など。

広告